

当院生理検査室における ISO15189 導入がもたらした影響

◎中出 慧¹⁾、上野 剛志¹⁾、中川 幸恵¹⁾、中河 竜也¹⁾、南部 重一¹⁾
富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院¹⁾

【背景】

当院は一般病床数 497 床の富山県西部で唯一の 3 次救急医療施設である。臨床検査部の要員は 43 名、うち生理検査室に所属する要員は 15 名である。当院は ISO15189 を 2022 年 6 月に認定を取得した。

【目的】

本検討では、特に生理検査室に焦点を当て、ISO15189 認定取得がどのような影響をもたらしたか調査した。

【方法】

- ①要員に対して、ISO15189 認定取得による業務量の増大とそれに伴う心理的・身体的な負担についてアンケートを実施した。
- ②ISO15189 認定前後での改善点を明示した。

【結果】

- ①アンケートの結果、要員の多くが ISO15189 認定取得により業務量が増加したと感じていた。ま

た、認定後の維持においても心理的・身体的な負担が存在することが確認された。

②認定前には行っていなかった標準作業手順書に準じた手技の標準化や生理検査室の精度管理方法が確立された。インシデント等の問題点については是正処置を講じることにより再発の防止が可能となった。

【考察・まとめ】

ISO15189 認定取得・維持には一定の負担が伴うが、これを機にこれまでの曖昧な事柄が可視化され、生理検査室の体制を見直すことができた。今後は要員の負担軽減や効率的な体制の構築に向けて取り組むことが課題であると考える。

連絡先 0766-21-3930 (内線 : 3451)